

より安全な地下鉄を目指して

平成22年12月6日(月) 千代田線 綾瀬車両基地にて

**異常時想定訓練を実施**

—報道公開いたします—

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：梅崎 壽）では、「直下型地震により走行中の列車が脱線」する想定で、関係社員の初動対応、お客様の救出救護及び避難誘導における迅速・適切な対応、脱線復旧処置等を主眼とした訓練を平成22年12月6日(月)に実施いたします。

今回の訓練では、事故復旧における関係部門の横断的な対応の確認・検証のため、復旧処置に関わる全ての点検作業を実施し、社員の異常時対応能力の向上を図ります。

また、訓練の様子を報道公開しますので、あわせてご案内いたします。

## 記

1 日 時 平成22年12月6日(月) 10時00分～12時00分

2 場 所 千代田線 綾瀬車両基地構内（足立区谷中4-4-55）

## 3 想定内容

千代田線日比谷駅～霞ヶ関駅間を走行中のA955S列車の担当運転士は、異常な揺れとともに緊急停止警報と停止信号を受信し、同駅間の14k800m付近に急停車した。停車後担当車掌は、車内外を確認したところ第10車両が脱線しているのを認めた。

なお、担当運転士は車内点検時に多数のお客様より、異常な揺れと急停車の影響で転倒や打撲等による痛みの申告を受けた。

乗務員より、指令所へ状況報告及びお客様に対する避難誘導の案内等の初期対応を実施する。

その後、車両状況を確認した技術区員は、「列車を回送するには脱線復旧処置が必要」と総合指令所に報告し、当該車両の脱線復旧を実施した後回送することとし、足立消防署員から運転再開の許可を得て綾瀬車両基地へ回送する。

## 4 訓練内容

- (1) 緊急時の初期対応、お客様への情報連絡、現地対策本部の設置・運営
- (2) 列車内お客様約100名の避難誘導
- (3) 負傷者の救出・応急処置・搬送
- (4) 車両の脱線復旧訓練

5 その他 本訓練は、東京消防庁足立消防署との合同訓練です。

また、足立消防署では、近隣の住民の方々を招き見学会も行います。

以上



〈平成21年12月4日、東西線深川車両基地内で  
実施した異常時想定訓練より〉